

# 平成27年度 みやざき地域志向教育研究経費 概要

所属部局等	代表者
医学部	荒武 亜紀
対象となる領域	地域志向教育研究経費区分
地域志向社会貢献領域	地域教育推進型
プロジェクト名又は研究名	
子どもの生活と子育てにおける世代間交流の推進プロジェクト	

## 概要説明

本プロジェクトは、子どもたちが健やかに育つ環境づくりや関係づくり、さらに安心して子どもを生み育てられる社会実現のために、子どもの生活と子育てにおける世代間交流を促進することで、子どもの健康と成長を守り育てる地域の子育て環境を維持・推進できる人材育成のために取り組むものである。

### <地域教育推進研究の目的>

#### 【研究目的】

宮崎県南部の水産業を営む地域において、昔ながらの女性の育児に関する工夫や知恵、またそれらの伝承と子育てにおける世代間交流の実態を調査し、子育てにおける世代間交流推進のための基礎資料を得て、子どもの健康と成長を守り育てる地域の子育て環境を維持・推進できる人材育成に必要な教育内容や方法を検討する。

#### 【背景】

現代社会において、少子による人口減及び高齢社会、過疎化が次第に進んでいる。地域内においても、人間関係が希薄化し、インフォーマルな子育て支援を地域において受けることが困難になっている(大日向,2005)。さらに、家族によるサポートが得にくくなったことや地域社会の結びつきが脆弱になったことから、世代間で継承すべき育児方法や知恵の衰退を引き起こしている(寺本,2015)。また、子育て中の親世代を対象とした地域の祖父母世代の支援ニーズについての調査では、地域の祖父母世代の積極的な子育てへの関わりや祖父母世代の文化を自身や子どもたちに伝達して欲しいといったニーズが高い(田淵・中原,2006)ことや、内閣府の調査(平成25年度)においても地域での子育て支援環境づくりの重要性を9割が地域の支えが重要だと思いと回答しており、その内容としては、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること」があげられていた。このようなことから、世代間交流を通じた社会参加を促す試み(厚生労働省)が推進されている。

#### 【宮崎県の現状】

宮崎県日南市、串間市の水産業を営む地域においても、少子高齢化が進んでいることや核家族化の進行、女性の社会進出、共働き夫婦の増加がみられる中で、生活環境が多様化してきている。日南市南郷町の代表的な産業は、町総生産の約3割を占める漁業である。漁業としては、カツオ、マグロの水揚げは町村では日本一となっており、1ヶ月から1年半にも及ぶ遠洋漁業も行っている漁業集落である。串間市の漁業は、特に養殖業が盛んで、ハマチ・カンパチの水揚げ、出荷が行われている。さらに、かつお一本釣りやまぐろはえ縄がさかんで、遠洋漁業など多様な沿岸漁業が営まれている。遠洋漁業が営まれている水産業を営む地域における子育ては、昔から男性は積極的に育児に参加することが不可能であることから、様々な地域活動を女性が中心となり担うことで、共同体として相互の結びつきが強く、育児文化や伝承が容易に行われていたことが考えられる。しかし、生活環境が多様化している現代において子どもたちは、人間関係の希薄化、生活習慣の乱れによる生活の知恵や習慣、態度の欠如などの問題を抱えている。さらに、犯罪、子どもが巻き込まれる事件・事故も生じており、子どもたち自身に危険を予測・回避する能力を習得させるための取組はもとより、子どもの安全を守り、安心して育つことのできる生活環境を地域の関係団体などの協力を得て、地域ぐるみで作っていくことが求められている。

以上のことから、共同体としての機能をもつと考えられる地域において昔ながらの子育て方法とその伝承について明らかにすることは、コミュニティの強みを生かした子育てにおける世代間交流支援モデルに関する示唆を得ることができると考える。

#### 【研究グループ構成】

宮崎大学 医学部看護学科 小児・母性(助産専攻)看護学講座

小児看護学

教授 野間口 千香穂、助教 荒武 亜紀

母性(助産専攻)看護学

教授 兵頭 慶子、助教 松岡 あやか